

寄り添う政治を。  
一人ひとりに

そ世  
だ田  
ち谷

# つるみけんご

世田谷区議会議員

無所属



## 2期目のスタート～第一回臨時会と今後の決意～

世田谷区議会改選後、5月17日から23日にかけて、世田谷区議会第一回臨時会が開催され、議長・副議長の選挙や常任委員の選任、特別委員会の設置及び委員の選任などが行われました。

私は、臨時会において「区民生活常任委員会」と「DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会」の委員に選任されました。これまでの1期4年の経験を活かし、今後さらに区民の皆様のお役に立てるよう精一杯努めてまいります。

2期目も決して初心を忘れず、「一人ひとりに寄り添う政治の実現を目指す」という“志”を曲げることなく、信念を持って自分らしく、地道かつ着実に活動を続けて参ります。

引き続きご指導賜りますよう、何卒宜しくお願ひいたします。

### 第二回定例会における一般質問

本通信では内容を一部抜粋し、掲載しております。質問の様子は下記から動画でご覧いただけます。



一般質問動画



### 質問 世田谷の教育はどのように子ども達の好奇心に向き合っていくのでしょうか？

～子どもの好奇心と学びの意欲を育むための教育改革を～

#### 質問の要旨

私はこれまで「好奇心を育む」という事を度々議会で取り上げてまいりました。世田谷の学校現場がすべての子ども達にとって「学びの場」として、学校における教科の枠に留まらず、その好奇心や知りたいという欲求を追い求めることのできる可能性に満ち溢れた場であって欲しいと考えています。

今後の子ども達の好奇心と学びに向かう力を育む教育についてどのような展望を描いているのか、教育長・教育委員会の基本的方針を伺いました。

#### 教育長の答弁の要旨

議員(つるみ)お話しの子どもの好奇心・興味・関心に合わせた探究的な学びへの取り組みは画一的な教育からの脱却を意味しており、一人ひとりの子ども達を学習の主体とした学びのスタイルとして

### 世田谷から未来を変える。

特定の団体や企業のためではなく、しがらみのない立場で、本当に困っている人の声を受け止められる”一人ひとりに寄り添う政治”的実現を目指して「つるみけんご」は、活動を続けます。

### 鶴見健悟プロフィール

- 1986年(昭和61年)  
10月12日生まれ 36才
- 世田谷区立駒沢保育園、駒沢小学校、駒沢中学校、東京農業大学第一高等学校、東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科卒
- JA東京中央会 元職員
- 衆議院議員 長妻昭 元秘書
- 公務員試験専門 喜治塾 元講師
- 2019年世田谷区議会議員に初当選(得票数4,491票)
- 現在2期目

区民生活常任委員会  
DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会



つるみけんごは  
“認知症サポーター”です！

## 質問 認知症社会への取り組み、区として「認知症検診」は実施されないのでしょうか？

～早期発見と早めの相談のためにも認知症検診の制度化を～

### 質問の要旨

全国の自治体では認知症検診の無料化や健診に認知症検診を取り入れるなど、認知症社会への様々な取り組みが展開されています。4年前、東京都が認知症検診の推進のため、区市町村に助成する制度を始めた際、区としての考えを伺いました。これに対し、区は「検討する」と答弁しました。そこから4年が経過しておりますが、いまだ区による検診事業は展開されておりません。今回、改めて検診の実施について、都の補助事業の件も含め、区の考え方を聞きました。



### 区の答弁

認知症は誰もがなる可能性があり、早めに気づき、認知症の発症や進行を遅らせる対応はとても重要であると考えている。

今年度より75歳到達時の後期高齢者被保険者証に同封し自己チェック後に心配な方が、医療機関やあんしんすこやかセンターへ相談できるよう早期対応に向けた啓発を進めているが、現段階では検診の導入を予定していないことから、都の補助事業は受け付けていない。



### つるみけんごコメント

「『早めに気づき、発症や進行を遅らせる対応が重要』との認識を示しながら、一方で検診は導入しないという区の姿勢は全く理解できません。見直すべきです」と指摘しました。今後も認知症社会への取り組みの強化を目指し、提言を続けて参ります。

### 質問

まちづくりセンターは私たち区民の生活を支える拠点になっているのでしょうか？

～区民生活を支え、区民と区が繋がる地域の拠点づくりを～

### 質問の要旨

世田谷の「地域行政」という制度は、区役所の行政組織を本庁一支部一出張所（区全域一区内5地域一区内28地区）の3層構造にすることで、区民の近くで行政サービスを展開することを目指し、世田谷区が独自の取り組みとして導入してきたものです。

昨年秋に施行された「地域行政推進条例」では、「まちづくりセンターは、区民生活を包括的に支援する地区の行政拠点として、多様な相談及び手続に対応する窓口を担う」ことが基本方針として掲げられました。しかしながら、今の区の取り組みが条例で掲げた役割を果たすものになっているのか疑問を持ちます。

条例制定から半年が経過し、区内28か所のまちづくりセンターが大きく変わらなければならない中で、これからどのように「区民・地域」と「まちづくりセンター」が関わる未来を描いているのか、その展望を聞きました。

### 副区長の答弁の要旨

まちづくりセンターはあらゆる世代が安心して住み続けられる世田谷をともにつくる最前線だと捉えている。きめ細かく地区・地域と区民のつながりをさらに深める場がまちづくりセンターであると考える。



### つるみけんごコメント

どのようにつながりを深めるのか、という点が不明確な答弁です。私は、まず区自身が、地区の中で起きている区民の皆様の困りごと・相談ごとにしっかりと対応していく、この姿勢が大事だと考えます。条例に掲げたとおり、まちづくりセンターで多様な相談・手続きに対応することは区の責務であるはずですが、今のまちづくりセンターはそのような役割を果たせていません。

地域行政制度は、全国にも例のない日本で唯一ともいえる行政構造を変える取り組みです。これを平時の困りごとのみならず、災害時には地区的行政拠点となることが本当の意味で区民生活を支えることにつながるはずです。これからも10年、20年、さらにはその先を見据えて、行政のあるべき姿・果たすべき役割を追求してまいります。



### 政治を志す若者・学生の皆様へ

私が初めて政治に携わったのは社会人2年目、サラリーマンをしながら休日にボランティアで、ある方の政治活動をお手伝いさせて頂いた時でした。その後、転職し、衆議院議員ながつま昭さんの秘書として、政治の現場で様々な事を学ばせて頂きました。

私は現在、区議会議員2期目です。ぜひとも若い世代の方々に政治を肌で感じてもらいたい、これらの政治のあるべき姿をともに描いていきたいと考えております。

政治に関心のある方のご連絡をお待ちしています。ともに“政治のあるべき姿”・“地域のあるべき姿”を考えていきましょう！  
✉ kengo@k-tsurumi.net TEL.03-6322-0575



### つるみけんご事務所

〒154-0003 東京都世田谷区野沢4-14-4  
TEL.03-6322-0575  
✉ kengo@k-tsurumi.net <http://k-tsurumi.net>

つるみけんご  
日々の活動  
発信中



Facebook

Instagram

Twitter

YouTube